

対象試料：

ナガイモ(根塊)、ナメコ

※ジャガイモ(根茎)は、IPR-01を参照ください。

※サツマイモ(根塊)、サトイモ(塊茎)は、IPR-07を参照ください。

※オクラは、IPR-02を参照ください。

ムチンを多く含む試料からの total RNA抽出

使用キット：・ ISOSPIN Plant RNA (Code No.310-08171,316-08173) + Assist Buffer for ISOSPIN Plant RNA (Code No.315-08501)

もしくは

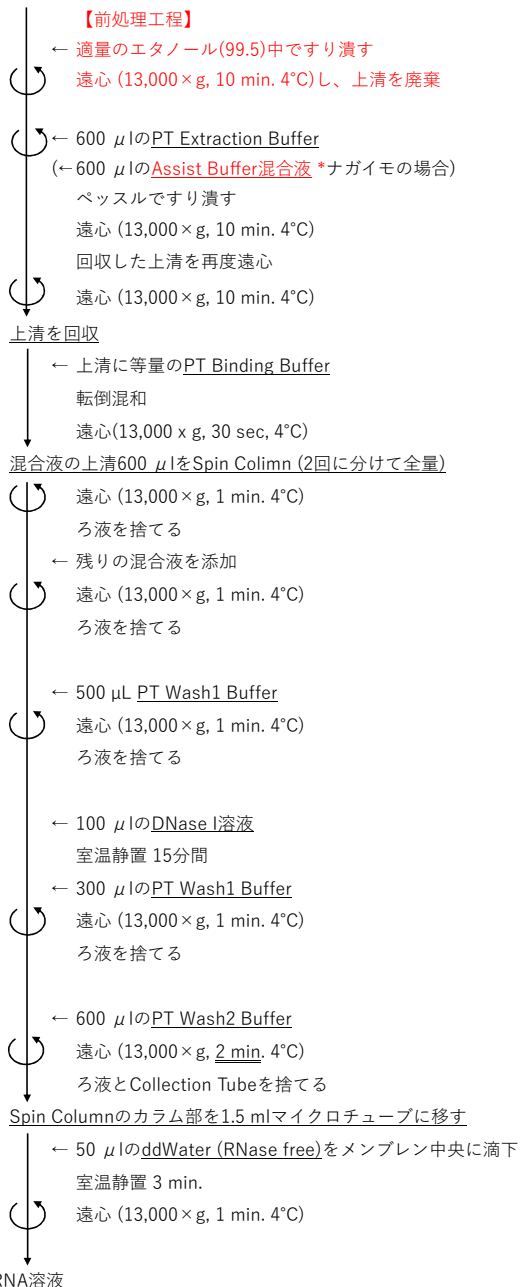
・ ISOSPIN Plant RNA (with Assist Buffer) (Code No.311-09061)

変更点：① EtOHによる前処理工程を追加（ムチンの除去）

② Assist Bufferの併用 *ナガイモの場合

<簡易プロトコール>

試料：5 - 50 mg



備考

少量の試料から検討を始め、段階的に量を増やす。

エタノール中での前処理により、ムチン等の粘性を低減する。

RNAの分解を避けるために4°Cを推奨（以降同様）

*ナガイモの場合は、Assist Bufferの併用が必要。

(Assist Bufferの使用方法はIPR-02を参照ください)

DNase I溶液は以下を有事調製

・ 10×DNase I Buffer：10 μ l

・ DNase I (RNase free)：30 units

・ ddWater (RNase free)：up to 100 μ l*DNase Iの活性は、ロットにより9 - 14 units/ μ lで異なる

データ

- 吸光度測定（収量および純度）

データ

・吸光度

試料	A260/280	A260/230	RNA収量
ナガイモ(根塊)	2.05	1.71	0.1 μ g/mg
ナメコ	2.2	2.51	73 ng/mg